

第26期第13回常任理事会議事録

日時：2月3日 14時30分—17時
 場所：気象庁 千代田区立産業会館
 出席者：浅井 竹内 小倉 木田 村上 青木
 安富 佐藤 中村 藤谷 松原

議事

報告事項

A. 各委員会報告

「庶務」

- ・後援名義等使用承認 2件
- ・1991年度支部活動報告（東北支部及び関西支部）

「会計」

- ・12月分の収支状況

「天気」

- ・1月号と2月号の内容

「気象集誌」

- ・70巻1号の内容
- ・70巻1号特集号「アジアモンスーン特集」の内容

「総合計画」

- ・地球惑星科学関連学会の第4回合同大会は3月に都立大学で開催の予定

「IAMAP」

- ・IAMAP' 93の組織委員会のメンバーが報告された。（組織委員長は浅井理事長）
- ・第1回組織委員会は1月20日に行った。

「通信メディア」

- ・12月の着信件数（249）と内容

「講演企画」

- ・春季大会の行事として、パネル・ディスカッション「ピナツボ噴火と大気科学」あるいは「特別講演」の開催を検討中
- ・秋季大会の申し込み締切を7月末にせざるをえないが、少しでも遅くできるよう検討する。

1. 1992年度藤原賞について

選考委員長から候補者の報告があったことが理事長から報告された。細則に基づいて理事投票を行う。

B. 審議事項

1. 第12回常任理事会の議事録は一部修正の上承認された。
2. 会員の新規加入について、個人18名、団体2が承認された。また、退会について、個人20名、団体1の報告があった。
3. 会費の改訂について
1992年総会提案の趣旨と定款第6条（会費）改訂案が了承された。
4. 中国国家気象局などの主催による「集中豪雨と洪水に関するシンポジウム」に日本気象学会が共催できないかとの申し入れについて審議した結果、理事長から承諾する旨の書簡を送ることとした。期日は1992年10月5—9日、開催地：中国黄山市
5. 日本惑星科学学会設立について、意見照会があり検討が行われた。今後の活動を期待する旨、理事長から回答することとした。
6. 地球惑星科学関連学会連絡会が主催する WPGM '92（香港）の共催について検討の結果、協力名義参加で回答することとした。
今後の各学会の合同大会継続については不確定である。
7. オランダ気象専門家協会（NSPM, 新設）から、気象専門士の国際的に同じような資格認定制度の必要性についての意見及びわが国の現状及び計画などについて照会を受けた。日本における現状を総合計画担当理事が回答することとした。
8. 評議員会について
会議次第及び学会活動状況の内容や会費の値上げについての説明内容の打ち合せを行った。